

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-2-2
スポーツの振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

保健体育課長 佐藤 正範

電話番号

0852-22-5722

事務事業の名称	国民体育大会選手派遣事業	
目的	(1) 対象	国民体育大会の県予選、中国ブロック予選、本大会へ出場する選手と監督
	(2) 意図	多くの選手が国民体育大会の本大会へ出場して活躍することが県民の大きな活力となり、スポーツの普及振興につながる。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国体県予選大会運営費：選手、監督を中国ブロック大会や本国体へ派遣するため、関係競技団体に対して、国体の県予選大会運営費を補助する。 ・中国ブロック大会派遣：選手、監督を本国体へ派遣するため、県予選を勝ち抜いた選手、監督を国体中国ブロック大会へ派遣する。 ・本大会派遣：本国体で活躍できるよう、県予選及び中国ブロック大会を勝ち抜いた選手、監督を本国体へ派遣する。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 国体選手派遣数	目標値		318.0	318.0	318.0	318.0	人
		取組目標値						
	式・定義 国民体育大会へ派遣した選手の数	実績値	273.0	300.0				
		達成率	-	94.4	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	91,623	90,925
うち一般財源 (千円)	91,623	90,925

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・H28国体ブロック大会を突破して本国体へ出場した競技は14競技(H27:13競技)、種目数は26種目(H27:26種目)であった。
- ・種別では、成年男子は8競技8種目(H27:3競技3種目)、成年女子は5競技5種目(H27:3競技4種目)、少年男子は4競技6種目(H27:7競技10種目)、少年女子は6競技8種目(H27:7競技9種目)であった。
- ・団体と個人の別では、団体が18種目(H27:16種目)、個人が8種目(H27:10種目)であった。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・成年男女について、昨年度よりもブロック大会を突破して本大会へ出場することのできた競技種目が増えたこと。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- ・ブロックを勝ち抜いて、全国で活躍できるほどの競技力が身につけていない競技種目が多数ある。(島根:26種目、鳥取:26種目、岡山:63種目、広島:48種目、山口:41種目)
- ・ブロック大会を1位で突破する競技種目が他県よりも少ない。(島根:15種目、鳥取:17種目、岡山:35種目、広島:30種目、山口:19種目)
- ・ブロック大会不参加種目は、競技人口の少ない、いわゆる未普及競技に多い。(島根:11種目、鳥取:6種目、岡山:6種目、広島:8種目、山口:9種目)
- ・高校3年生など進学のためにブロック大会に参加しない競技もある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・社会人として働きながら競技力を維持したり高めたりすることのできる環境が不十分であること。
- ・国体に対する選手、監督の意識の低下。
- ・未普及競技の普及活動や未普及競技に関わる選手や指導者の人材育成が不十分であること。

③原因を解消するための「課題」

- ・ブロックを勝ち抜いて、全国で活躍できるよう競技力の強化を図る。
- ・ブロック大会不参加種目を減らすため、競技人口の少ない未普及競技の普及を図る。
- ・高校総体終了後のブロック大会に参加する選手が増えるよう働きかける。
- ・引き続きふるさと選手の重要性を念頭に置きながら、選手一人一人の心が島根に向くよう働きかける。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・企業を上げてスポーツ振興に取り組む企業の強化対策の支援。
- ・国体に対する意識付けをあらゆる機会を通して行ったり、「ふるさと選手」などの成年選手の積極的な確保を行ったりして、国体に出場する選手を増やす。
- ・競技団体、県中体連、県高体連、県体協、県教育委員会が一体となって未普及競技の選手確保と育成に取組み、ブロック大会に参加する競技種目を増やす。